

埼玉教育新聞

第2227号
編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048(824)2511
(一部10円)
毎月15日発行
(組合員の購読料は組合費に含む)

▽埼玉教組へメール
▽埼玉教組HP



埼玉教組新年度役員、決まりました

3月4日に第297回中央委員会がありました。中央委員会は、定期大会の間に年2回開催される、機関会議です。支部・専門部から選出された中央委員が出席し、埼玉教組の当面のとりくみなどについて決定しました。今回は同時に来年度の役員選挙について開票作業が行われました。以下、来年度の埼玉教組役員をご紹介します。

中央執行委員長	北村 純一
中央執行副委員長	沖田 晴美
中央執行副委員長	井上 毅
書記長	林 聡一郎
書記次長	笠本 育子
書記局長となる中央執行委員	小畑 雅子
書記局長となる中央執行委員	金井 裕子
さいたま市支部担当中央執行委員	湯井 一成
北足立南支部担当中央執行委員	増村 紀子
北足立北支部担当中央執行委員	小久保 ゆかり
西部支部担当中央執行委員	岡田 豊和
秩父支部担当中央執行委員	江田 浩
大里・児玉支部担当中央執行委員	水原 肇
北埼玉支部担当中央執行委員	立澤 佳代
埼玉支部担当中央執行委員	宮田 祐介
埼玉支部担当中央執行委員	菊地 肇
天笠 明美	
鈴木 雅典	
高野 伸章	
飯塚 麻子	

コロナ過の三年目の三月、ようやく、強制的な解除となるなど、通りの生活への兆しが見えてきました。県内中学校の卒業式がマスク無しで行われたと報じられていますが、不安や習慣からマスクを外せないという児童生徒がいることも事実です。▼気になるニュースがSNSで広まりました。埼玉県公立学校職員の「超勤裁判」です。残業に関わる裁判所の「仕分け」にて労働時間と認めないとしたものに「児童の授業ノートの添削」「保護者への対応」「授業参観の準備」「教材研究」までもが「教師の自発的行為」として判断され目を疑いました。▼これがまかり通るなら世の教師は勤務時間内に仕事を全て終わらせる事は不可能と思われまます。▼子ども達の為に教師を志す若者は近くにいます。希望に満ち溢れた教職に今こそ声を挙げる時です！より良い労働環境を目指し埼玉教組の闘いも続きます。一致団結、頑張ろう！(み)



「どうして組合に入る決意をしたのですか」の問いに、「これまで職場の改善に力を注いできたが、個人の力の限界を感じました。組合としてできることに魅力を感じ、加入を決意しました」とのこと。ひとりひとりの力が集まる組合への期待に、会場の組合員はみな、大きな勇気をもらいました。

労働組合では、組合員加入や共済加入を増やすことを「拡大」と言います。なぜ人を増やすのに「拡大」なのでしょう。

「拡大」とは、組合員が増えることで、民主教育や民主的な職場づくりの輪が大きくなることを意味します。組合員が増え、互いに教育実践を切磋琢磨することで、子どもたちを真ん中にしたゆきとどいた教育が進みます。組合員が増え、要求を訴える力が強くなると、わたしたちがいきいきと働き続けられる職場づくりが進みます。

また、埼玉組共済は組合で広がっている助け合いの共済です。共済会によっては組合員しか加入できない共済ですが、埼玉組では、未組合員にも助け合いの輪を広げています。

今年度はこれまで、組合新規加入で37名のなまを迎え入れました。総合共済新規加入は、44名となります。残り1週間余りですが、「あなたもぜひ埼玉組へ」「たすけあいの埼玉組共済に」と、組合・共済加入を呼びかけてください。

「どうして組合に入る決意をしたのですか」の問いに、「これまで職場の改善に力を注いできたが、個人の力の限界を感じました。組合としてできることに魅力を感じ、加入を決意しました」とのこと。ひとりひとりの力が集まる組合への期待に、会場の組合員はみな、大きな勇気をもらいました。

労働組合では、組合員加入や共済加入を増やすことを「拡大」と言います。なぜ人を増やすのに「拡大」なのでしょう。

「拡大」とは、組合員が増えることで、民主教育や民主的な職場づくりの輪が大きくなることを意味します。組合員が増え、互いに教育実践を切磋琢磨することで、子どもたちを真ん中にしたゆきとどいた教育が進みます。組合員が増え、要求を訴える力が強くなると、わたしたちがいきいきと働き続けられる職場づくりが進みます。

また、埼玉組共済は組合で広がっている助け合いの共済です。共済会によっては組合員しか加入できない共済ですが、埼玉組では、未組合員にも助け合いの輪を広げています。

今年度はこれまで、組合新規加入で37名のなまを迎え入れました。総合共済新規加入は、44名となります。残り1週間余りですが、「あなたもぜひ埼玉組へ」「たすけあいの埼玉組共済に」と、組合・共済加入を呼びかけてください。

「どうして組合に入る決意をしたのですか」の問いに、「これまで職場の改善に力を注いできたが、個人の力の限界を感じました。組合としてできることに魅力を感じ、加入を決意しました」とのこと。ひとりひとりの力が集まる組合への期待に、会場の組合員はみな、大きな勇気をもらいました。

労働組合では、組合員加入や共済加入を増やすことを「拡大」と言います。なぜ人を増やすのに「拡大」なのでしょう。

「拡大」とは、組合員が増えることで、民主教育や民主的な職場づくりの輪が大きくなることを意味します。組合員が増え、互いに教育実践を切磋琢磨することで、子どもたちを真ん中にしたゆきとどいた教育が進みます。組合員が増え、要求を訴える力が強くなると、わたしたちがいきいきと働き続けられる職場づくりが進みます。

また、埼玉組共済は組合で広がっている助け合いの共済です。共済会によっては組合員しか加入できない共済ですが、埼玉組では、未組合員にも助け合いの輪を広げています。

今年度はこれまで、組合新規加入で37名のなまを迎え入れました。総合共済新規加入は、44名となります。残り1週間余りですが、「あなたもぜひ埼玉組へ」「たすけあいの埼玉組共済に」と、組合・共済加入を呼びかけてください。

新年度 なかまを増やそう！

2月23日に開催された冬のコンパニーには、今年度加入した組合員4名が、駆けつけてくれました。自己紹介をいただいた後、青年部からのインタビューがありました。そこでは、教員になったきっかけ職場の様子などについて、お話ししてくれました。

①特別組合員（臨任・病休・育休・再任用など）や拡大対象者の情報は、異動先の分会に確実に連絡してください。

②転出入者や退職者のいる分会は、歓送迎会

「どうして組合に入る決意をしたのですか」の問いに、「これまで職場の改善に力を注いできたが、個人の力の限界を感じました。組合としてできることに魅力を感じ、加入を決意しました」とのこと。ひとりひとりの力が集まる組合への期待に、会場の組合員はみな、大きな勇気をもらいました。

労働組合では、組合員加入や共済加入を増やすことを「拡大」と言います。なぜ人を増やすのに「拡大」なのでしょう。

「拡大」とは、組合員が増えることで、民主教育や民主的な職場づくりの輪が大きくなることを意味します。組合員が増え、互いに教育実践を切磋琢磨することで、子どもたちを真ん中にしたゆきとどいた教育が進みます。組合員が増え、要求を訴える力が強くなると、わたしたちがいきいきと働き続けられる職場づくりが進みます。

また、埼玉組共済は組合で広がっている助け合いの共済です。共済会によっては組合員しか加入できない共済ですが、埼玉組では、未組合員にも助け合いの輪を広げています。

今年度はこれまで、組合新規加入で37名のなまを迎え入れました。総合共済新規加入は、44名となります。残り1週間余りですが、「あなたもぜひ埼玉組へ」「たすけあいの埼玉組共済に」と、組合・共済加入を呼びかけてください。

「地元農産物の活用」と「学校給食無償化」は世の中の前進につながる運動



「安全な地元農産物の活用と学校給食の無償化をめざす埼玉連絡会」が発足して3ヶ月。とりくみを着実に進めています。

浦和駅で2度実施した大規模宣伝には、子ども連れの人や自転車を止めて協力をしてくれる人など、駅頭署名としてはこれまでにない多数の署名が集まりました。埼教組集約748筆を含めて、県連絡会として短期間に3万4399筆を集約しました。

その署名を携えて、3月14日、県副知事に要請しました。「埼玉県は全国でも有数な米や野菜の生産県です。安全で新鮮な地場野菜や有機米などを学校給食に提供し、食育の推

進と農業の発展を両立させるために、学校給食を無償化し、安全な地元農産物を学校給食に活用してください」と訴えました。それに対して副知事は「給食は教育活動の一環であり、都道府県による格差は望ましくない。物価高騰が長期に及ぶ場合は国が補助するように知事自らが文科省に出向き要請したところである。また、地場産の郷土食を引き続き促進するように働きかけたい」と回答しました。

「学校給食に要する経費は保護者の負担とする」という一文が無償化を妨げているわけですが、群馬県では32自治体中14が全額無償化という事実、千葉県では県と市町村の財政支援で第3子以降の子どもを無償化している好事例は、必ずしも学校給食法に縛られるものではないことを物語っています。

「地元農産物の活用」「学校給食無償化」は、給食を食事だけにとどまらない「食育」という教育課題に押し上げて、地元農業を活性化させ食糧自給率改善にもつながる前進的要素をたくさん含んでいるとみられます。引き続き署名は7月末まで集約していきます。

教育文化 研究所コーナー

2月26日、志木市の小中一貫教育を考える会の学習会に参加、「こんなにも活気があって、学ぶことが多い学習会」そんな感想を持ちました。

知る・学ぶ・広げる

「(小中一貫教育の)メリットが不明」「1000人を超える学校で、一人も取りこぼさないなんて無理じゃないか」「子どもも教職員も負担が増えるのでは」「市の進め方は『見切り発車』、もっと話し合いを」

「説明会を再度開かせ、皆で声を上げましょう」など、参加者の真摯な質問や的確で勇気づけられる発言が相次ぎました。

学習会が充実したのは、①参加者の大半が、行政の説明会に参加している②該当する学区の保護者が多い③現職の教師や0

を発表しました。その推進の理由に「学習のつまずき」「発達早期化」「いわゆる『中一ギャップ』の対応を掲げています。

しかし、近年「科学的根拠が推奨していません。小学校高学年という思春期にリーダーとしての自覚や達成感が育ま

Bの参加などが反映していると思います。市の説明会には200余名が参加し予定時間を超えて質問・要望が出されたそうです。

志木市は、広報「志木」12月号で志木市の小中一貫教育方針



(上) 副知事に署名提出 (右) 記者会見にて



要求を確認し、運動を確認し、展望を拓く討論を展開

～3/4に中央委員会開催～

異常な物価高騰の中で、民間労働者が経営者に対してストライキも行使して賃金引き上げを求める「春闘」の最中に、第297回中央委員会を開催しました。

発言を通じて、私たちの要求・課題が明らかになり、運動の方向性や展望が拓ける討論となりました。



須永さん (西部・比企)



東松山市費事務職員の会計年度任用職員を組織した。当事者が会議で要求をまとめ、当局交渉にも参加した。これまでの当局交渉で、賃金や年休の労働条件を改善することができた。当事者が運動に参加して要求実現に結び付いた。

大場さん (栄養職員部)



栄養教諭の産休代員が栄養職員の身分なので、本務者同様に食育の授業を期待されてもできない。栄養教諭の代員は栄養教諭とするのは当然である。坂戸市が給食無償化になった。物価高騰で食材調達が大変。給食は安全なものを食べさせたい。

村田さん (青年部)



青年部の総力を結集して、教員採用試験対策講座を行った。論文対策や面接対策に多くの青年教職員が関わった。SNSを活用して交流を深め、新採用予定者を対象に「スタートアップ講座」を継続して行っている。研修では学べない濃い内容の学習会になっている。

三角さん (養教部)



人以上、中学校801人以上が養護教諭の複数配置基準である。現在の養護教諭の働き方は、けがや具合の悪い子どもへの対応、保健室登校の子どもへの見守り、担任への連絡や事務作業など仕事は増え続けている。複数配置基準を変えることが先決である。

川上さん (さいたま市)



県では制度化している子育て休暇や連続8日以上の子病休取得時の証明書、問題だらけの出退勤打刻システムについて、今年度の賃金確定交渉で、市は前進回答をいっさい示さなかった。2回目の交渉でようやく「最大限努力する」と回答した。組合の団結で交渉は大事である。

森山さん (北足立南・川口)



県教委の懲戒処分規定変更を受けて、川口市教委も、パワハラ・マタハラを明確にする新たな規定を策定した。労働安全衛生体制を学校にも適用し、教職員の働き方改革が焦点化している。不登校が増加する現在の学校に必要なことは、ICT教育の強要ではなく、負担軽減である。